

- ◆ 九州財務局では、小学校における財政の公開授業を実施するなど、小学生向けの社会保障・税の一体改革広報を継続しているほか、児童館で子育て世代を対象とした出前講座を実施している。
- ◆ 講師は総務課職員や広報担当者などで対応してきたが、広報機会の増加を背景に、十分な準備を行うためにより多くの講師が必要となったことや広報先に応じた講師(若手・女性職員)を派遣する必要が生じたことから、**28年11月に広報サポート・スタッフ(通称:さぼすた)制度を創設**。
- ◆ 広報部門では、「さぼすた」に講演会視察や研修受講の機会を提供して広報マインドの醸成を図るとともに、出前講座や大学の特別授業における「さぼすた」の活動・実践をサポートしている。

1. 成果事例の概要等

○ 幅広い層で講師を育成し、効果的な広報に資するよう、**本局各部3名、財務事務所各3名の18名(うち女性6名)を「さぼすた」に選任**。

○ メディアトレーニング研修、財政教育プログラム、各事務所でを行う勉強会への参加を促し、広報活動に向けて**基礎知識や心構えの習得**を図った。

○ 平成28年11月25日に**鹿児島大学附属中学校**で開催された財政教育プログラムに**8名の「さぼすた」がアドバイザー**として参加し、広報の現場を体験。

○ 地元の小学校から講師派遣依頼を受け、29年1月23日、**甲佐町立甲佐小学校**で6年生を対象に、税と財政について出前講座を実施。**「さぼすた」2名が講師を務め**、アニメーションを多用したクイズや1億円レプリカを使い小学生へのメッセージを楽しく、熱心に発信。

○ 29年1月27日、大分税務署との連携により**大分市立野津原中部小学校**の租税教室において、財政に関する部分を**財務事務所若手職員**が担当。大分県内初の小学校での出前講座となった。

○ **熊本大学や熊本県立大学**の特別講義では、財務局をより身近に感じてもらうよう、**OB・OG職員**らが財務局の紹介を行い、財務局や財務金融行政への認知度向上に貢献。

★ 広報部門では、「さぼすた」が**研修や視察に参加**することで、広報活動への不安を払拭し、意欲的に取り組めるようサポート。
★ 出前講座などでは、広報部門が作成したスライドに「さぼすた」の**意見を取り入れる**など企画段階からの参加を図っている。



財政教育プログラムを体験する「さぼすた」



小学校の出前授業で講師を務める



大学OBが日常の業務を写真で説明
学生も先輩の説明に興味深く聴講

2. これまでの取組の成果等

○ 親しみやすい広報の実現

➢ 児童・生徒への税・財政広報には若手職員、大学生への財務局PRIには大学OB・OG職員、子育て世代への一体改革広報には女性職員など、**広報対象に応じた講師を派遣し、親しみやすい広報を展開**。

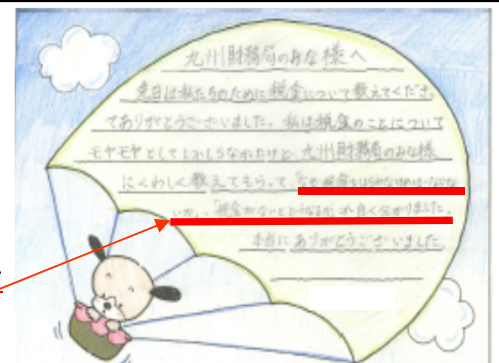
➢ 甲佐小学校から届いた6年生全児童の手紙には、**「税がなぜ必要なのか分かった」、「楽しく分かりやすく教えてもらった」**などの感想が寄せられた。

○ 財務局職員の広報マインドの醸成

➢ 広報業務未経験の職員も種々の広報活動に参加することで、イメージをつかみ、**自らの業務分野以外にも興味を持ち、意欲的に広報活動に取り組む**ことができています。

➢ 実際に広報活動に参加した「さぼすた」からは**「講師の経験は貴重だ」という声**が聞かれた。

★ 幹部や広報担当者だけでなく、聴講者と同じ目線で話すことのできる講師を育成。
★ 「さぼすた」が高いモチベーションをもって、工夫を凝らして広報活動に臨むため、聞いていて身近に感じる、分かりやすいと、**聴講者から概ね好評**。



児童から送られた手紙

3. 今後の課題と九州財務局等の対応

◀ 今後の課題 ▶

○ 通常業務を行いながら広報活動に従事できるよう、内部向けに更なる「さぼすた」制度の浸透を図る。

○ 「さぼすた」に知識等を付与するため、勉強会や視察などの機会を確保する。

◀ 九州財務局及び管内財務事務所の今後の対応 ▶

○ 引き続き会議等において制度の周知を図り、広報活動によるスキルアップが人材育成につながることへの理解を得ていく。

○ 事務年度内に「さぼすた」との振り返りを行い、育成に有用なツール等の検討を行う。

★ 「さぼすた」制度を通じた幅広い層での講師育成により、**財務局広報の更なる充実**を図る。